



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 日本ピストンリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6461 URL <https://www.npr.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 輝夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 志田 健 (TEL) 048-856-5011
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	13,010	24.3	1,071	—	1,196	—	765	—
2021年3月期第1四半期	10,466	△20.9	△627	—	△601	—	△1,023	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 2,518百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △1,110百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	99.69	99.13
2021年3月期第1四半期	△126.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	64,564	32,629	47.9	4,026.80
2021年3月期	61,809	30,267	46.4	3,740.29

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 30,939百万円 2021年3月期 28,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	20.00	—	40.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	12.6	2,600	—	2,700	658.9	1,700	—	221.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

除外 2社(社名) 株式会社日本リングサービス
株式会社日ピスビジネスサービス

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	8,374,157株	2021年3月期	8,374,157株
2022年3月期1Q	690,751株	2021年3月期	703,426株
2022年3月期1Q	7,675,537株	2021年3月期1Q	8,089,902株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスワクチンの接種進展により経済活動の制限が徐々に解除され、回復の兆しが見られたものの、感染力の強いと言われる変異株による再拡大が懸念されており、引き続き収束時期が見通せない状況となりました。我が国におきましては、海外経済を背景とした輸出の改善や個人消費の持ち直しがありました。断続的な緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令に伴い、経済活動の回復にむけた動きは鈍く、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当グループが関連する自動車業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大で需要が急減した前年同期からは回復基調にあり、世界の自動車生産台数は増加しました。

このような状況の中、当グループは自動車メーカーにおける車載半導体不足による影響を受けたものの、市場動向にあわせた需要の取り込みを進めたこと等により、売上高は130億10百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

損益面におきましては、原材料高騰の影響等がありましたが、増産効果に加えて、原価低減や固定費の削減を継続して推し進めたこと等により、営業利益は10億71百万円（前年同四半期は営業損失6億27百万円）、経常利益は為替差益の計上等により11億96百万円（前年同四半期は経常損失6億1百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億65百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失10億23百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次の通りであります。

① 自動車関連製品事業

自動車関連製品事業は、車載半導体不足に伴う自動車メーカーの稼働停止影響を受けたものの、世界の自動車生産台数が増加したこと等により、売上高は112億64百万円（前年同四半期比26.2%増）となり、セグメント利益は9億83百万円（前年同四半期はセグメント損失5億52百万円）となりました。

② 舶用・その他の製品事業

舶用・その他の製品事業は、産業機械向け製品等の需要拡大等により、売上高は6億1百万円（前年同四半期比24.7%増）となり、セグメント利益は2億9百万円（前年同四半期比3,380.4%増）となりました。

③ その他

商品等の販売事業を含むその他の売上高は、11億43百万円（前年同四半期比7.9%増）となり、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比84.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、27億55百万円増加し、645億64百万円となりました。これは主に、「現金及び預金」の増加11億35百万円、「投資有価証券」の増加6億72百万円、「有形固定資産」の増加7億48百万円等があったことによるものであります。

(負債)

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ、3億93百万円増加し、319億35百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」の増加10億33百万円、「電子記録債務」の増加3億5百

万円、「繰延税金負債」の増加2億69百万円、流動負債「その他」の増加2億10百万円に対し、「有利子負債」の減少11億44百万円、「営業外電子記録債務」の減少2億7百万円等があったことによるものであります。

(純資産)

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ、23億61百万円増加し、326億29百万円となりました。これは主に、「為替換算調整勘定」の増加11億35百万円、「利益剰余金」の増加6億5百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加4億67百万円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました予想値から、売上高510億円、営業利益26億円、経常利益27億円、親会社株主に帰属する当期純利益17億円に上方修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,766	5,901
受取手形及び売掛金	10,476	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	10,505
棚卸資産	9,454	10,064
その他	1,447	1,432
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	26,131	27,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,705	7,740
機械装置及び運搬具（純額）	13,544	13,420
土地	5,132	5,561
建設仮勘定	651	1,031
その他（純額）	818	846
有形固定資産合計	27,852	28,600
無形固定資産	873	457
投資その他の資産		
投資有価証券	5,216	5,889
退職給付に係る資産	1,149	1,211
繰延税金資産	229	162
その他	362	357
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	6,952	7,616
固定資産合計	35,678	36,675
資産合計	61,809	64,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,129	3,162
電子記録債務	3,582	3,887
短期借入金	4,760	4,806
1年内返済予定の長期借入金	4,252	3,905
リース債務	76	73
未払法人税等	402	305
設備関係支払手形	127	114
営業外電子記録債務	954	747
その他	2,969	3,179
流動負債合計	19,254	20,183
固定負債		
長期借入金	7,765	6,937
リース債務	244	231
繰延税金負債	1,155	1,425
退職給付に係る負債	2,958	2,994
その他	163	164
固定負債合計	12,287	11,751
負債合計	31,541	31,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,839	9,839
資本剰余金	6,080	6,080
利益剰余金	13,279	13,885
自己株式	△900	△888
株主資本合計	28,299	28,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,654	3,122
為替換算調整勘定	△957	177
退職給付に係る調整累計額	△1,305	△1,276
その他の包括利益累計額合計	391	2,022
新株予約権	67	67
非支配株主持分	1,509	1,622
純資産合計	30,267	32,629
負債純資産合計	61,809	64,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,466	13,010
売上原価	8,907	9,768
売上総利益	1,559	3,241
販売費及び一般管理費	2,186	2,170
営業利益又は営業損失(△)	△627	1,071
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	64	76
為替差益	—	37
スクラップ売却益	16	13
その他	41	51
営業外収益合計	124	180
営業外費用		
支払利息	40	31
為替差損	24	—
その他	33	24
営業外費用合計	98	55
経常利益又は経常損失(△)	△601	1,196
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△601	1,196
法人税、住民税及び事業税	146	230
法人税等調整額	237	141
法人税等合計	383	372
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△984	823
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	58
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,023	765

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△984	823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	219	467
為替換算調整勘定	△380	1,198
退職給付に係る調整額	35	28
その他の包括利益合計	△125	1,694
四半期包括利益	△1,110	2,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,117	2,396
非支配株主に係る四半期包括利益	6	122

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結累計期間の期首から適用しております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高へ与える影響はありません。また、収益認識会計基準等の適用が当第1四半期連結累計期間の売上高、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結累計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結累計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結累計期間において、当社は、当社の連結子会社である株式会社日本リングサービス及び株式会社日ピスビジネスサービスを吸収合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車関連製 品事業	船用・その他 の製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,924	482	9,406	1,059	10,466	—	10,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,924	482	9,406	1,059	10,466	—	10,466
セグメント利益又は 損失(△)	△552	6	△546	25	△520	△106	△627

- (注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△106百万円は、各報告セグメントに配賦していない研究開発費等であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車関連製 品事業	船用・その他 の製品事業	計				
売上高							
日本	4,094	398	4,493	462	4,955	—	4,955
アジア	3,396	148	3,544	26	3,571	—	3,571
ヨーロッパ	1,337	54	1,392	618	2,011	—	2,011
北米	1,387	—	1,387	35	1,423	—	1,423
その他の地域	1,047	—	1,047	0	1,048	—	1,048
顧客との契約から 生じる収益	11,264	601	11,866	1,143	13,010	—	13,010
外部顧客への売上高	11,264	601	11,866	1,143	13,010	—	13,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,264	601	11,866	1,143	13,010	—	13,010
セグメント利益又は損 失(△)	983	209	1,193	4	1,197	△125	1,071

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品等の販売事業を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△125百万円は、各報告セグメントに配賦していない研究開発費等があります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の「第5 経理の状況 2 財務諸表等 (1)財務諸表 注記事項(重要な会計上の見積り) (新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)」に記載した内容から重要な変更はありません。